

輸出事業計画

申請者名：ナンチク輸出促進コンソーシアム、品目：牛肉/豚肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ターゲット国に於いて富裕層や観光客向けに日本の外食産業が進出し日本食が浸透してきている。
- ・現地量販店においても日本の農産物は安心・安全・高品質という評価がいきなり国内より高値で取引されている。

【課題】

(生産)

- ・牛では動物福祉（アニマルウェルフェア）対応、頭絡での出荷に伴い作業効率や安全性の低下。

(食肉加工)

- ・牛では吊り上げ式ト畜による血斑の発生による商品価値低下やそれによる損失が発生がしている。
- ・牛豚、食肉処理技術者不足により、生産量が伸びない。工場の定期的な工場査察での指摘事項改善の為、多額の投資が発生している。

(販売)

- ・新規参入事業者も多く国内他産地産との競争が年々激しくなっており収益性の悪化を招いている。

2. 輸出事業計画の取組内容

【課題に向けた取り組み内容】

(生産)

- ・牛、国内の頭絡農場を視察し頭絡使用技術の検証を行い他農場に対する指導に努める。

(食肉加工：牛)

- ・血斑低減に向けた国内の食肉処理施設視察・研修を行い施設設備の改修、技術導入。

(食肉加工：牛・豚)

- ・外国人実習生の積極的な採用。
- ・指摘事項改善については最小投資にて最大限の効果が得られるよう他社も参考にしながら取り組む。

(販売)

- ・他産地との差別化を図る取組を実施する。
- ・(KAGOSHIMA WAGYU)ブランドのブランディングを民間の 会社に委託し差別化を図る。
- ・現地でのメディアを利用した広告活動。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

申請者名：ナンチク輸出促進コンソーシアム、品目：牛肉/豚肉

4. 輸出目標額

	現状（令和2年度）	目標（令和5年度）	備考
牛肉：輸出額（千円）	1,111,665	1,778,664	
牛肉：輸出量（t）	313	500	
牛肉：輸出先国	EU、香港、シンガポール、タイ、マカオ、ベトナム、台湾、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、ミャンマー	EU、香港、シンガポール、タイ、マカオ、ベトナム、台湾、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、ミャンマー	
豚肉：輸出額（千円）	394,428	512,756	
豚肉：輸出量（t）	338	439	
豚肉：輸出先国	香港、タイ、シンガポール、マカオ、ベトナム	香港、タイ、シンガポール、マカオ、ベトナム	